

考動・躍動・感動

2年後をイメージして・・・

○体育館から聞こえてくる歌声

○式を終えて体育館から出てくる卒業生の表情

昨日の『第38回卒業証書授与式』は、とても素晴らしい式でした。式を終えた3年生の表情・態度は、とてもすがすがしく『東中学校で3年間を送ってよかった。』という気持ちがにじみ出ていたように感じたのは、先生だけではないはずです。

小学校の卒業とは違い、中学校卒業後は、それぞれが自分で選択をした道を進んでいくことになります。また、日々の生活や各行事、部活動などを通して、友だちとのつながり・絆を強く感じたり、様々な経験をする中で友だちの温かさに触れたりする瞬間もたくさんあるでしょう。そういった意味も含め、やはり中学校の卒業式は何とも言えないものがあります。そんな子どもたちにとって、また家族にとってかけがえのない瞬間に立ち会うことができることを毎年ながら、幸せに感じます。

さて、4月の学年集会の時に、「3年後をイメージして生活してほしい。」という話をしたことを覚えている人はいるでしょうか。昨日の卒業式を通して、みんなには2年後の『自分たちの卒業式』をイメージして、生活して行ってほしいと改めて強く感じました。どんな卒業式にするか・どんな卒業式にしていくかは、あなたたち次第です。「2年後はまだ先だから・・・」と思うかもしれませんが、あっという間に時は過ぎていきます。日々の生活を大切に、仲間を思いやる気持ちを持ち続ければ、必ず素晴らしい卒業式になるはずです。



【“先輩・上級生”として】

4月からは名実共に2年生になり、“先輩・上級生”になります。しかし、3年生が卒業した今、先輩・上級生としての意識をもって生活してほしいと思います。先輩・上級生の意識といっても、何か特別なことをする訳ではありません。

- ・仲間を思いやる気持ちを持ち続ける
- ・時間を守る
- ・当番活動に責任をもって取り組む
- ・授業を大切にする



など、当たり前のことに対して一生懸命取り組むなど、身をもって示すことこそが先輩・上級生としての意識だと思っています。“責任”と“自覚”を感じながら、生活していきましょう。

【来週の主な予定】

- 10日(月): クラフトタイム決め
at 体育館
12日(水)～14日(金):
5時間授業(45分日課)
※原則、10日・12日～14日は部活なし

(クラフトタイム決めについて)
先週のアンケート結果に基づき、最終プログラムを決定しました。それぞれ定員がありますので、第3希望ぐらいまでは決めておきましょう。

